

## 今年の帯広遠征は、浦幌町を拠点にし、 野球漬けの3日間を送りました！！

新チームの腕試しと位置づけられている夏休み序盤の帯広遠征。これまでは、1泊2日で4試合を消化するという中身でありましたが、今年は試合で出た反省を、すぐに練習で解消することを目的とし、ナイター設備を備えた立派な球場を持つ浦幌町を拠点にし、例年より1泊多い2泊3日で帯広遠征ならぬ「十勝遠征」を実施しました。

本校は生徒専用寮を持つ学校であり、北海道内や日本各地、また海外から多くの生徒が集まる学校です。野球部に在籍する寮生は現在、帯広市、更別村、苫前町、別海町、旭川市、北見市、静内町、斜里町の道内、そして海外のタイのバンコクから選手が入部しています。毎年実施されるこの遠征は、北北海道の強豪校との練習試合を通しチーム力強化を図ることを目的としていますが、地元出身の選手にとっては成長した姿を家族や地元の方々に観てもらおう良い機会となっています。

帯広市内・近郊の高校と試合をさせていただき、試合終了後、帯広から約1時間の距離にある浦幌町に移動。浦幌町にはナイター設備を備えた浦幌町民球場という立派な球場があり、試合で出た反省を解消すべく、ナイター設備をフルに活用し練習に励みました。球場で練習ができるだけでもありがたく、加えてナイターでの練習は全員が初めての経験であり、新鮮な気持ちで練習に打ち込むことができました。

今回の遠征は、本校2期生で現在は浦幌神社宮司の妻である背古円先輩のご尽力で実現できたものです。円先輩は、本校在学中に現在のチアリーディング部の前身であるダンス部を立ち上げ、初代主将を務めた方です。当時から、野球部の応援の中心を担う存在であり、今回の依頼にも「後輩たちのためなら」と快く引き受けてくれました。

浦幌町では、浦幌町民球場でのナイター設備を利用した練習をし、会館を宿泊所として使用させていただきました。また、地元中華料理屋さんにご夕食と朝食を、セブンイレブンさんにも朝食を用意していただきました。また、球場横にある森林公園でバーベキューを用意していただくなど、温かい歓迎をしていただき3日間を過ごさせていただきました。また、練習試合が雨天中止の場合に備え、スポーツセンターの使用も準備していただくなど、あらゆる事態に備えて活動のバックアップをしていただきました。最後には、学業と部活動の両立を祈念した浦幌神社のお守りをいただきました。円先輩をはじめ、グラウンド整備や銭湯貸し切り、食事の用意や布団の用意など、多くの浦幌町の方々にご協力をいただきました。浦幌町の皆様、本当にありがとうございました。選手たちにとって、多くの人々の温かさを感じた遠征となりました。感謝の気持ちを力に変えて、甲子園で校歌を歌うという目標に向かい練習を重ねていきます。





2017/08/06